



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1140 / 2013. 03. 29

例 会/ANA インターコンネクトホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2012~2013 年度クラブテーマ
会長 尾関 武男

「僅かなことにも手を差し伸べよう、そして信頼と絆」
Give a hand to even to the small things. Build trust and bonds.

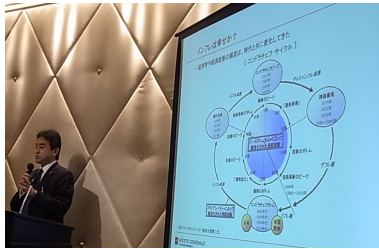
●本日の例会/ 2013 年 3 月 29 日 第 1248 回

卓話: 「紳士の皆さま。」

お口の臭いにお気を付けあそばせ」
プライベートデジタルサロン Fukuda MKM
院長 福田 久美子 氏

●前回報告/2013 年 3 月 22 日 第 1247 回例会

卓話: ソシエテ ジェネラル証券株式会社
東京支店 支店長 島本 幸治 氏



会長報告:

新会員
荒井 隆是 氏
入会式



親睦活動委員会: (村山委員長)

①新会員歓迎会を 4 月 16 日(火)18:30~20:30 ルメルシマンオカモト(南青山)にて開催します。奮ってご参加下さい。

②火曜会 4 月 2 日(火)18:30~20:30 当ホテル 36FMIXX バー&ラウンジにて開催。吉岡さん、橋本さんにお話しいただきます。

③麻布ロータリークラブとの親睦ゴルフコンペを 5 月 11 日(土)、18 日(土)、25(土)のいずれかに予定しています。

出席報告: 会員 43 名/出席 27 名 欠席 16 名

ビジター: 村田龍二(東京西 RC)

計 1 名 (順不同・敬称略)

●次回予告/ 2013 年 4 月 5 日(金) 第 1249 例会

卓話: 評論家 塩田 丸男 氏

新入会員の紹介

荒井 隆是 君 (Arai Takayuki)

2013 年 3 月 15 日(金) 入会

職業分類: ブランド開発運用

生年月日: 1965 年 5 月 1 日

事業所: 株式会社インストアメディア社

役職名: 代表取締役

所在地: 〒221-0052

横浜市神奈川区栄町 5-1

横浜クリエーションスクエア

紹介者: 西澤民夫 吉岡琢磨



ソングリーダー
入沢会員



ニコニコ担当
小林会員



来客紹介
土屋会員



3 月 22 日(金) / 12 件 24,000 円

累計 849,000 円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

尾関武男/島本さん本日の卓話心待ちしておりました。島本幸治/島本さん卓話楽しみです。岩上義明/島本さん本日の卓話宜しくお願い致します。尾上寛/島本さん本日の卓話大変楽しみにしています。河邊幸夫/今日は娘の中学校の卒業式に行ってきましたが、込み上げるものもなく、あっという間に終わってしまいました。島本さん卓話楽しみにしています。清水寛/島本さん今日の卓話楽しみです。荒井さん入会おめでとうございました。西澤民夫/荒井さん入会おめでとうございました。今後共よろしくお願い致します。高須康有/荒井さん入会おめでとうございました。島本さん卓話楽しみにしております。吉岡琢磨/小林大兄ニコニコご苦労様です。島本さん本日の卓話楽しみです。上原の隣仲間より。秋吉志郎/小林さんニコニコご苦労さまです。土屋東一/小林さんニコニコご苦労さまです。小林博茂/WBC負けました。あのダブルスチール作戦は監督の功名に走った采配です。教訓になりました。今日も沢山のニコニコ有難うございます。

文明の産物を運ぶために思いついた車輪は、歴史以前のものである。しかし、それがいつ、どこで発明されたものであるかは誰も知らない。多分、紀元前の末期、小アジアかヨーロッパで発明されたのではないかとわれている。

ロータリー誕生の年に歯車も生まれた

世界中のロータリーの組織を象徴するため考案された歯車は、1905年（明治38年）ロータリー誕生の年に生まれている。これは、ロータリー最初のクラブの彫刻家であったモンターギュー M. ベアが、シカゴの元気あふれる若い職業および専門職業人の新しいグループの徽章として、簡単にして、かつ素朴な形の車輪を描いて、これをクラブに持参し提供したことに始まるのだ。創設者ポール・ハリスは、モンティーに対し幾つかの試案の提示を求めた結果、ポールはじめ一同が一致して賛成したのが、この車輪である。つまり、車輪は皆に親しまれた象徴であり、車輪は第一 Rotate するからであった。これが今日、襟章として、道標として、カフスボタンとして、ネクタイとして、その他例会の襟章に、壁掛けに、レターヘッドに、その他いわゆるロータリーを象徴する記号として使われている歯車の始まりである。モンティーの考案のままの車輪は、そのままでは続かず、その後幾多の改良が行われ、これではあまりに簡単すぎるという見地から、モンティー・ベア自身、さらに車輪の下部分に、雲のようなデザインを加えた。しかし、その後、幻燈のスライド製作者である“Long Tom” Philip は雲の部分をもさらに広げてその上にリボンをつけ、これに Rotary Club の文字を入れた。つまり車輪が現実動いている体裁を整えたデザインにしたのであった。

独自の徽章を考案

この間、サンフランシスコ、オークランド、シアトル、その他のクラブでは、車輪を取り入れて独自の徽章を考案して使っていた。1910年に16のクラブが連合して新しいナショナルアソシエーションを組織したのであるが、定款その他の規定の作成に忙しく、徽章のことに触れる余裕がなかった。本部はシカゴ・クラブの徽章を何とはなしに使っていたが、1912年ドルースで連合大会を開催するに当たり、本部としてもこのままにはできないので、全体に共通する徽章のデザインを考案するよう、全クラブに呼びかけた。しかし、もちろん車輪を基本的なものとするに変わりはなかった。かくして、ドルースの大会においてロータリーは名実ともに国際的になったが、ロータリーは、ここに初めてローヤル・ブルー（濃青色）と金色の歯車を正式の徽章として、制定したのであった。しかし、その後専門家から、この歯車は技術的に不完全であり、このままでは動かないとの注意が出たので、2人の技術者（ドルースの Oscar B. Bjorge とシカゴの Charles Henry Mackintosh）からなる委員会が任命され、技術的に正確に動く歯車が検討された。

楔穴を付け加え完成

この委員会が考案したデザインは1920年正式に採用公布となり、これが今日われわれが親しんでいるロータリー・マークであるが、ただ、ひとつだけ違いがある。それは、前記2人の委員が楔穴（Key way）を見落としたことで、これがないと歯車は車軸からの（または車軸への）力を伝えることができなくて遊んでしまうわけである。かくして楔穴も付け加えられて、歯車は休止するこ

明治維新前後の著名人の生涯

明治維新前後には、坂本竜馬や西郷隆盛などの傑物が多数出ました。ここでは福澤諭吉について、彼の粗々の生涯を書いて見ました。紙面の関係から要点のみに絞ります。

福澤諭吉は1834年（天保5年）大坂で生まれ、1901年（明治34年）東京で死去しました。66歳でした。明治維新は1868年に起こりましたが、それは福沢が33歳の時に当たります。明治維新は彼の生涯の丁度半分に達した時に起こり、これを境に彼の人生、は「準備期」にあたる前半と「活動期」にあたる後半に分けられると思います。維新前から著作活動を始め、特に「西洋事情」は、ベストセラーになりました。「学問のすすめ」は明治5年に発行され、その書き出しは「天は人の上に人を造らず」と言う有名な言葉であり、70万部を越えると言う当時としては、脅威的な大ベストセラーとなりました。その他多くの著作を残していますが、ここでは省略致します。福澤は「西洋事情」を日本に紹介し、日本の近代化の為に大きな功績を残しましたが、彼の偉大さは、ただ思想の世界で活動するだけではなく、自ら国民の立場に立って新しい事業を起こした点にあったと思います。そして教育者として各界に多くの人材を送りました。特に東京大学の初期の頃の学長（総長）を務めた浜尾新、渡辺洪基は東京大学の発展に多大な貢献をしました（両氏とも福澤の門下生であり、ネットで調べられます）。福澤が死去した時（1901年2月3日）会葬者の数は1万5千人に達し、三田の自宅から麻布山善福寺まで2キロの道を福澤の棺に従って歩きました。衆議院も議員ではなかった民間人の福澤の為に「哀悼の決議案」を全会一致で可決しました（1901年2月8日）。政府及び企業界ではなく民間の啓蒙思想家及び教育者として、福澤ほどの影響力をもった人間は、新島襄や大隈重信（純粋な民間人ではないが）などがいるだけであり、福澤は明治維新以来の日本が生んだ在野の最高の人物の1人であったと思います。

となく今日まで回転し続けているのである。

この歯車に国際ロータリーとしては、一般的な解釈以外に何か特別の意義を持たせているのではないかと、よく問題になるが、公式にいつても何もない。しかし古来幾千のクラブが歯車の6つの幅と24の歯に特別の意義を見いだしている。

（ロータリージャパンより）

